

すばるの四季

社会福祉法人 星の会 〒263-0054 千葉市稲毛区宮野木町 395 番地 2
No.39 2022 年 12 月 TEL 043(305)5986 FAX 043(305)5987

虐待研修で得たこと

共同生活援助すばる マネージャー 吉田 愛子

今年の秋は大きな台風もなく長雨もなく、小春日和が続いております。442年前に見られたという皆既月食・天王星食を11月8日の夜空に綺麗に見ることが出来感動しました。次に皆既月食・土星食が見られるのが322年も先とは、自然の不思議さに驚いています。

ところで、私は法人の虐待防止委員会に属しております。委員会の動きについては、この紙面で他の委員から報告があります。(ご参照ください。)私の方からは虐待研修での学びをお知らせします。時には自分の支援を振り返ってみるのも良いかと思いますので私の学びを書いてみます。

行動障害のある方への支援では、冰山モデルということが言われております。

私たちは毎日利用者さんの支援を行っていますが、利用者さんがとっている行動(見えている行動)は、上に浮いている冰山の部分です。しかし、その下には見えない氷(その行動をとらせている思い)が大量にあります。私たちは利用者支援をするうえで「氷の上の部分」つまり、本人の行動に表れている部分に焦点を当てて支援をしがちです。例えば行動に表れている部分、拒否・こだわり・行動停止・物壊し・非(反)社会的行動等々。しかし、この行動の背後にある(氷山の下の部分)自分の欲求が伝わらない・嫌な事を否定できない・求められていることが理解できない・理解してもらえない・調子が悪い・環境が不快等々あって、「氷山の上の部分」の行動となってしまうのです。従って、行動の部分の改善しようと思っても、隠れて見えない背後にあるものに気づかなければ利用者の心に寄り添った支援が出来ないし、行動の修正も図れないということになります。その結果、行動の改善が図れなくて負のスパイラルに陥ってしまいます。氷山の下の部分「本人が抱えている思い」に気づき、そこの部分を支援することで利用者は安心と満足が得られ、安定した行動ができるということのようです。こうした支援モデルのことを「冰山モデル」と言います。

グループホームでの毎日の生活で、利用者が目の前でとっている行動にはいったい何があるのか、なんで怒っているのか、なんで行動修正ができないのか等々時間をかけてじっくり考えてあげられる世話人・支援員でありたいと思うことのきっかけになった研修でした。

もうすぐクリスマス、そして新年を迎えます。

迎える新しい年はどんな年になるのでしょうか。コロナがインフルエンザ並みになって自由が戻って欲しいと思いますが、もうコロナ以前の生活には戻れないのだろうと思う気持ちも一方にはあります。元には戻れない……。だから、その時その時を精一杯生きる「生きていて良かったね。」と思いつつ、毎日の支援に励みたいと思います。

ワーク&サポートすぼる

ハロウィンパーティーを楽しもう♪

10月はハロウィンの時期ということで、パーティーを開催しました。パーティーでは利用者の皆さんにメイクや衣装などで仮装してもらい、一人ずつランウェイからのポーズを決めてもらいました。掛け声を貰いながら思い思いのポーズを決め、とても盛り上がっていました。また、他にもお玉リレーやハロウィンに因んだ〇×クイズなどを行いました。体を動かしたり、頭を使ったりと普段とは違った楽しい時間を過ごして頂くことが出来ました。(小川)



私の踊りと仮装を見て！



〇が正解だと思う人集まれ～



みんなでポーズ！トリックオアトリート



ピンポン玉を落とさないように頑張れ～



二人で仲良く「ハイ、チーズ!!」

グループホーム外出支援

ハウス花見川「皆で釣り堀にいこう」

あいにくの雨模様でしたが、室内釣り堀だったので天気を気にせずに楽しむことが出来ました。大きな魚を釣上げて驚いている利用者さんもいれば、なかなか釣れず疲れてしまう利用者さんもありました。久しぶりの外出支援ということで、みんな嬉しそうでした。コロナ禍なので外食は避け、ちょっとリッチなお寿司を買い、ホームに戻って食べることにしました。皆さんとても楽しかったそうです。次はどのようなイベントを計画しようかと思っています。 (手塚)



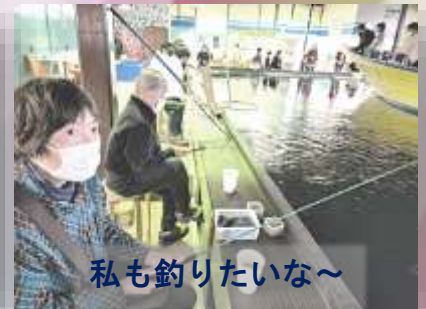
私も釣れたよ



大きいの釣れたよ！



釣れないかな？



私も釣りたいな～

すみれ荘・ゆりの木荘 「外房の海を見にドライブしよう」

コロナ禍で旅行も中止になり、遠くに出掛けることが出来ない状況が続きました。密にならないよう工夫し、利用者の皆さんに楽しんで頂きたく、ゆりの木荘とすみれ荘合同で鯛ノ浦の遊覧船で鯛を見に行くことになりました。船に乗るときは皆緊張顔。船が上下にうねって楽しんでいる人、そうではない人と様々でした。みんな沢山の鯛がヒレを出して素早く泳ぐ姿を見て興奮していました。

コロナ対策をして、次は何処に行こうかなと楽しみ！ (石井)



揺れているね～



波がうねっているよ～



こんなに大きい鯛がいるんだよ～



海の回ジャンプ～



つばさ寮 「防災訓練・BBQ」

つばさ寮では、防災訓練・バーベキューを行いました。雨予報が出ている曇り空でしたが、職員Tさんの晴れ男パワーで何とか雨に降られることなく開催することが出来ました。

防災訓練では地震を想定し、集合場所まで速やかに避難をする訓練と、集合場所から緊急避難場所までの経路確認を行いました。皆さん熱心に参加されていました。

バーベキューでは落ち葉を掃いたり椅子を運んだりと全員で準備をし、お肉の他にも魚介類やフランクフルトなどを皆さんで美味しく食べました。(加藤)



防災訓練、完了です！



早く食べたいよう



美味しいね

虐待防止委員会

令和4年度より、虐待防止委員会の設置が法的に義務付けられることとなりました。早速、星の会においても虐待防止委員会を設置し、活動を開始しました。

現在、虐待防止委員会では、今年度中に虐待防止マニュアルを完成させるべく作業を進めております。また、虐待を未然に防ぐ為の取り組みとして「虐待チェックリスト」「ストレスチェックリスト」の活用や虐待防止研修の実施などを段階的に進めています。

今後も虐待防止委員会が中心となって、虐待防止や身体拘束について法人内に周知徹底できるように取り組んでいきたいと考えています。(虐待防止委員)

新人紹介

ワーク&サポートすばる 齊藤

10月からW&Sに配属になりました齋藤です。

前職ではグループホームや相談窓口で主に精神疾患・障害を持った方々の支援をしていました。同じ福祉職ではありますが、生活介護は初めての経験です。趣味は祖母から学んだ三味線です。たまにメンテナンスついでに演奏しています。これから利用者さんや法人の力になれるよう頑張っていきます。

ありがとうコーナー

1. 伴 玲子 様
2. 石井 良雄 様
3. 白倉 春子 様
4. 五傳木 幸子 様
5. 菅野 三紀子 様
6. 小幡 淳 様
7. 花屋 「蔵」 様
8. 興栄燃料(株) 様
9. (株)ヨシケイ 様
10. まごころ弁当 様

編集後記

久々のイベントに利用者の皆さんも嬉しそうでした。早くコロナが治まりますように！(村上)